

議会運営委員会 所管事務調査報告（平成28年度）

1 経過

6月20日付けで、議長から議会運営委員長に「ペーパーレス議会の推進について」調査研究を行うよう議長諮問があった。

そこで、タブレットを導入し、業務の効率化、コスト削減に取り組む先進都市において、次の点について現地調査を行うとともに、自治体向けタブレット端末ICT推進セミナーにも参加して、基礎的な知識を学び、調査・研究を進めることとした。

- (1) 行政文書のペーパーレス化
- (2) コスト削減と職員の労力軽減
- (3) 議会運営及び審議の効率化
- (4) その他（災害時の活用、市民への説明）

2 調査・研究経過

回	開催日	主な協議内容
第1回	H28年6月21日	所管事務調査項目（テーマ）の決定。
第2回	7月11日	行政視察について
第3回	8月2日・3日	福岡県嘉麻市議会の視察とICTセミナーに参加
第4回	8月29日	タブレット導入に向けた今後の方向性協議（タブレット体験会の実施と協議を継続することの決定）
第5回	10月7日	タブレット体験会の実施
第6回	11月2日	タブレットの経費削減効果と費用負担について
第7回	12月1日	答申のとりまとめ協議
第8回	12月20日	答申のとりまとめ協議
第9回	H29年1月26日	所管事務調査報告書の確認

3 議会運営委員会の行政視察について

調査結果

(1) 嘉麻市議会での特徴的な取り組み

- ① タブレットでグーグルカレンダー、メール、インターネット、カメラ、

オフィススイート、各種アプリを使用する。

② SideBooks の通知機能、メモ機能を使用する。

③ 議会のペーパーレス化事業について

ア 導入経過

- ・ 平成25年10月に神奈川県逗子市（iPad、Sidebooks）、埼玉県飯能市（Arrows、独自のクラウド）の先進地視察を行い、12月に議会ペーパーレス化推進を決定する。
- ・ アプリとタブレット端末、契約方法、費用対効果を検討し、翌年度の6月に補正予算を計上する。
- ・ 導入機器等、入札方式（プロポ）、業者選定基準を決定し、8月通信業者の決定・契約を行い、クラウドサーバー業者との契約を経て、8月末にタブレット納品がある。
- ・ 9月定例会から紙とタブレットの並行運用を開始する。（並行運用は26年度いっぱい）
- ・ 平成27年5月本格稼動を開始する。議会にはタブレットとメモ用紙のみ使用

イ 導入目的

議員の利便性の向上と執行部、議会事務局の負担軽減

ウ アプリケーションソフト、タブレットの選定、通信契約

高齢の議員が多いので、難しい機能が少ないアプリが利点で、自宅等での活用を考えLTEモデルを導入する。データ量は、一人当たり3GBを目安に、67名で201GBを分け合う

エ 費用削減効果と課題

紙代244万円減額。モノクロ資料がカラーになり、見やすくなる。写真、地図にも使える。印刷製本、差し替え、保管の手間などの効果もあるが、人件費の削減効果が一番大きいのではないかと

- ・ 文字が小さいので、少し大きくしたい。
- ・ スキルの差ができるので、研修で縮めたい。

オ まとめ

- ・ タブレットを導入し、ペーパーレスのほかに、行財政改革のために何をするのかを議論する。
- ・ 職員には限界があるので、バックアップ体制の構築が必要
- ・ タブレット使用への不安があるが、行財政改革への理解と使用者（議員）の協力が必要
- ・ 使用マニュアルを作っているが、タブレット導入目的を理解しても

らい、家族に貸さない、有料のサービスを受けない。3GB 以内で使う。失くしたら連絡をする。後は、自由で、怖がって使わないというのが一番悪い。

(2) 自治体向けタブレット端末 ICT 推進セミナー

① タブレットによる業務の効率化の実現

- ア 常に正確な情報を共有できる
- イ 必要な資料が全て揃っている（場所と時間を選ばない）
- ウ 印刷業務が大幅に減る
- エ 議員活動でタブレットが活躍する
- オ 資料を使って住民に説明する
- カ 議会・会派のスケジュールを共有できる
- キ 一般質問、議会報告会で活躍する

② タブレットの活用度を向上させるポイント

- ア インターネットに接続させる
- イ 庁外持ち出しルールを整備する
- ウ クラウド文書管理システムを入れる

③ タブレット調達について

- ア 運用効率を向上させるために、機種を統一する
- イ どこでも使え、繋がり、セキュリティ機能に優れ、運用が容易な LTE モデルを選択する
- ウ 法人一括契約を行い、法人向けのキャリアのサポート（紛失・盗難対策、初期設定サービス、MDM サービス、操作研修サービス）を受ける。

④ ペーパーレス会議システム（SideBooks）

- ア 簡単な操作で、PDF データをアップロードして、クラウド本棚に登録し、いつでも閲覧できる。
- イ クラウドサーバーとタブレットで利用でき、文書管理と会議運営からなるクラウド本棚。
- ウ 無限階層フォルダで文書を格納し、会議に有効な横断検索機能、多彩なメモ機能、ブックマーク機能、ページ通知機能がある。

4 タブレット端末導入についての検討

(1) 導入の目的

議会改革の一環として、ICT を有効に活用した議会運営（ペーパーレス会議）を行うため、タブレット端末及び文書共有システムについて調査・研

究を行う。

(2) タブレット端末導入により期待される効果（検討ポイント）等について

- ① 議案書・資料に係る行政文書のペーパーレス化による環境負荷の軽減等
- ② 議会運営及び審議の効率化
- ③ 議員活動の充実
- ④ 議案等作成に要するコスト削減と労力軽減
- ⑤ 議会内の情報伝達の迅速化、危機管理上の緊急連絡・情報管理・情報共有等

(3) 検討結果

① 経費削減について

ペーパーレス会議が実現すると、紙の使用量や印刷・配付コスト、資料保管スペースなどの経費を大幅に削減できる。

② 業務の効率化について

資料を印刷したり、配付する手間がなくなり、執行部・事務局の作業負担が軽減されるため、人件費の削減だけでなく、余裕のできた時間を他の仕事に振り向けることもできるなど、業務の効率化に大きく貢献する。

③ 会議の効率化について

直前に資料を修正・訂正することも可能で、会議開催までの時間の合理化・効率化が図られる。

④ 環境保護について

紙資源、印刷コスト、資料の処分にかかるコストを削減することができ、二酸化炭素の排出削減に貢献する。

⑤ 参考資料等について

タブレット端末を利用すれば、読みにくい小さな文字や資料に添付される小さい図や写真も拡大・カラー表示されるため格段に読みやすく、分かりやすい資料となる。

⑥ 議員の利便性向上

各種資料の受け取り・携行・検索・保管が容易になり、議員と事務局、議員間での情報伝達の迅速化が図られる。

⑦ 危機管理対応の向上

緊急連絡、ハザードマップ確認など、災害時の活用ができる。

⑧ ペーパーレス化における課題

実現すれば確実に効果があるペーパーレス化ですが、タブレット端末等の操作などの技術面の課題解決だけでなく、「紙の方が安心」という意識改革も大きな課題である。

5 調査・研究のまとめ

- (1) タブレット端末及び文書共有システムの導入は、「議会活動」「政務活動」「議員活動」等において効果や利点も多く、議会運営及び審議の効率化にもつながり、労務改善や情報共有のスピード化も図られ、導入による利活用も期待できる。
- (2) タブレット端末の使用に関して、議員が積極的に活用できるようなルールづくりが必要である。そのため、通信方法はセルラーモデルを念頭に置き、その特性とタブレット端末の携行性を最大限に活かすため、過度な使用制限を設けるべきではない。また、タブレットの利用に慣れるため、通信の一部は議員活動、会派活動での使用を認め、費用の一部を議員個人が負担するのが適当である。
- (3) タブレット端末及び文書共有システムの導入に向けて、具体的に調査・検討を行うグループ（（仮称）ICT推進検討委員会）を立ち上げ、タブレット製品、ペーパーレス会議システム、運用ルール等について引き続き調査を行う。

6 答申

行政改革だけでなく、環境負荷低減の観点からも、できる限りのペーパーレス化は今後、避けては通れない課題であり、府中市議会として、積極的にICT化の推進を図らなければならない。

早期に可能な会議からタブレット端末を使ったペーパーレス会議導入を検討されるよう提言する。